Dive はじめて手順書作成マニュアル

エピソテック株式会社

2025年06月16日_r0

はじめに

- 本マニュアルは、**Diveを使ってはじめて手順書を作成する方**に向けて説明した操作方法を記しています。
- 説明アプリ画面が、旧バージョンの画面である事があります。その際は、現行のアプリ画面として読み替えてご使用ください。
- なお、30日間の無料トライアルがございます。本番環境と同様となりますので、こちらのご利用をご検討ください。

動画マニュアル

本マニュアル記載の下記については、Diveで作成した動画手順書を公開しています。ぜひ、こちらもご参考ください。

1. トライアル申請

2. 動画手順書を作成する（前半、後半）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する　＊こちらはYouTubeとなります。

仕様

PCではWebアプリ、スマホではインストールするタイプのアプリでDiveを使用します。

項目	サポート	推奨	補足
Webアプリ（PC用アプリ）	Google Chrome	最新バージョン	Webアプリは下記。 https://dive-dashboard.vercel.app/
スマホ/タブレット用アプリ	Android/iOS デバイス（ARを利用する場合、ARCore 対応 デバイス）	• Android: Galaxy S10以上のスペック. • iOS :iPhone 8以上のスペック, iPadは第8世代以上のスペック	アプリはそれぞれ下記からダウンロード。 Android https://play.google.com/store/apps/details?id=com.Episotech.InteractiveSupporter iOS https://apps.apple.com/jp/app/interactive-supporter/id1548827223
対応システム言語	日本語/英語	-	手順書における自動翻訳は、下記の15か国語 日本語，英語，タイ語，ベトナム語，中国語（簡体字），中国語（繁体字），韓国語，ミャンマー語，マレー語，ベンガル語，インドネシア語，ネパール語，タガログ語，スペイン語，ポルトガル語，ヒンディー語

基本的な作成フロー

・基本的にはPCのWebアプリで行います。AR手順書についてはスマホで行います。
・スマホアプリでは、発行や承認フローの実行はできません。作成が終わったら、PCアプリで実施ください。

■動画手順書

■AR手順書

1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

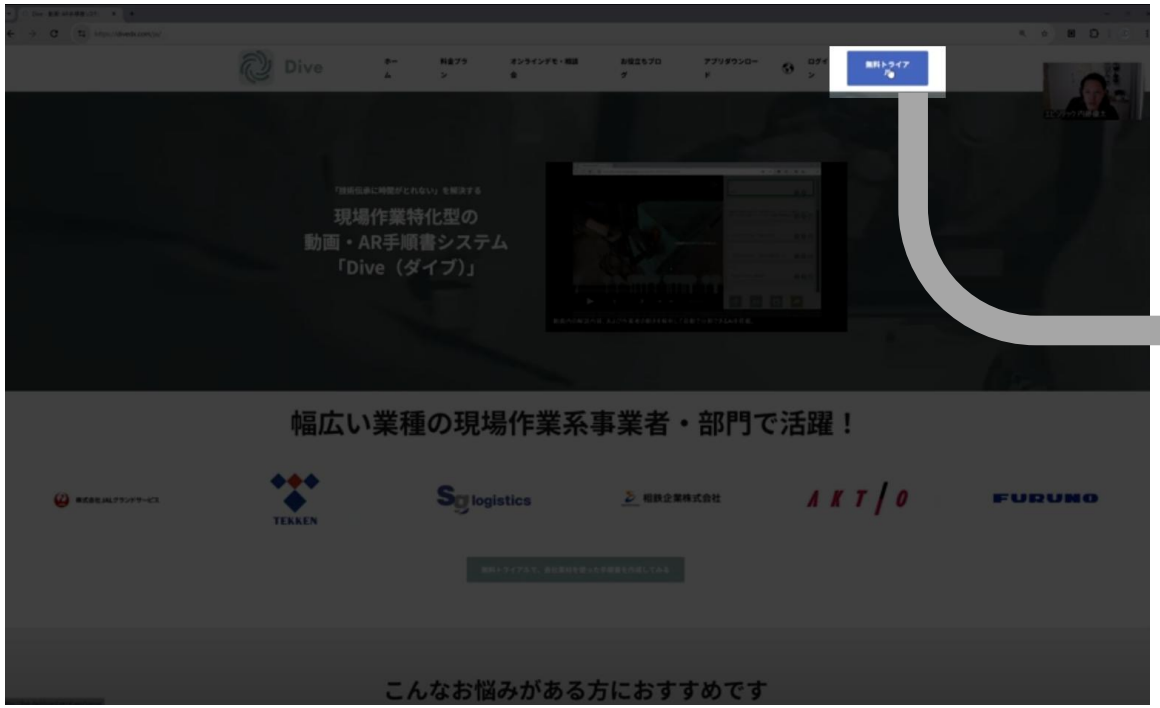
5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

トライアル申請

すでに組織のだれかが行って入れば不要です。



https://divedx.com/ja/

- 必要情報を入力し、送信
- システムメールを確認し、必要情報を入力したあとアプリを開く

1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

アプリにログイン

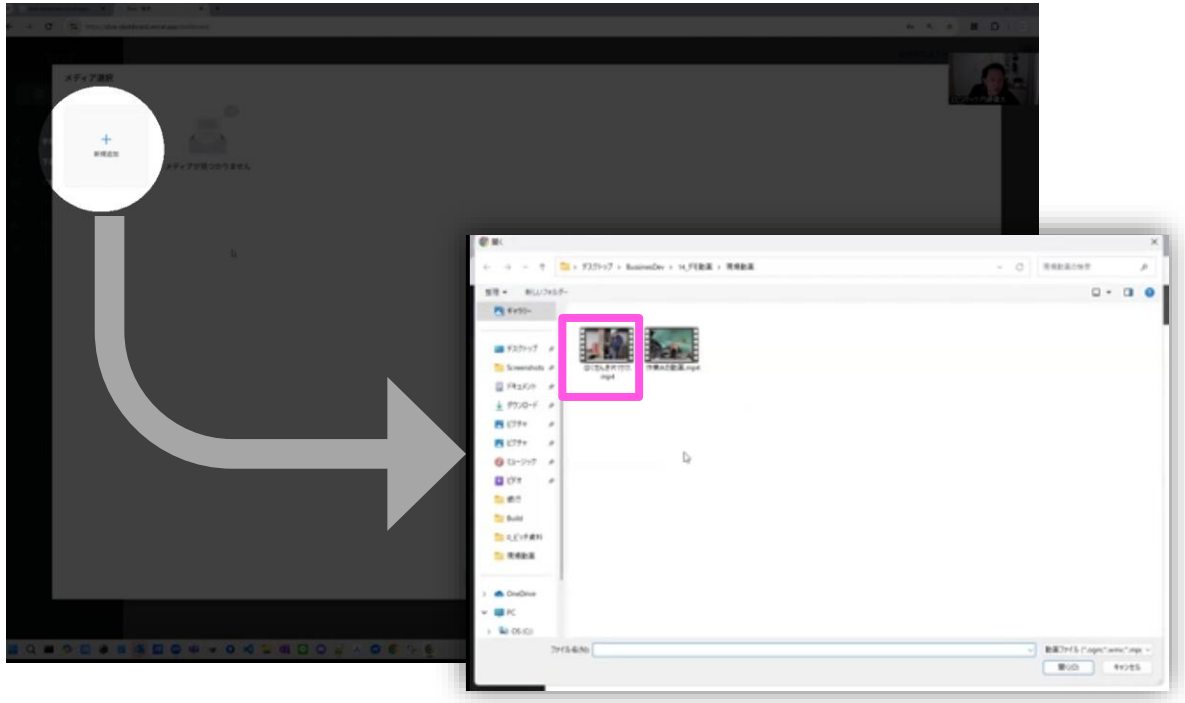
https://dive-dashboard.vercel.app/

必要情報を入力し、ログイン

作成開始

「動画から作成」をクリック

動画アップロード



使用したい動画を選択

- アップロード、処理が完了したら下のボタンをおす
- 開いた動画編集アプリで編集開始

1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

AIで自動分割

- 処理には、だいたい動画と同じくらいの時間がかかります。
- ブラウザを最小化して待っていただいて大丈夫です。

AI処理結果の確認

区切りに対する作業内容（文字起こし、または行動解析した行動名）

現在再生中（選択中）の作業単位

AIが判断した作業開始のタイミング

各手順の定義

区切り結果それぞれが動画手順書における各ステップとなります。
（出力ボタンをおすことで、結果内容をもとに動画手順書が作成されます）

そのため、下記を実行しましょう。

1．区切りの調整（編集・削除・追加）をする

2．区切りを動画手順書の対象外にする

3．動画を結合し、１つの区切りとする

4．動画へ図形を挿入する

1．区切りの調整（編集･削除･追加）をする

■区切りを削除する（前後の動画を結合する）

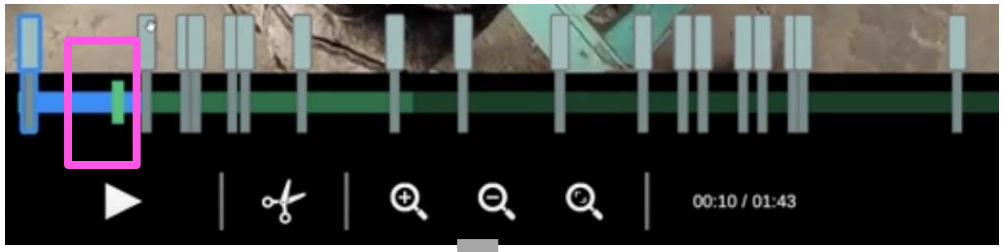
対象区切りをクリックし、下記ボタンをクリック

■手順内容を変更する

対象区切りをクリックし、下記ボタンをクリック。
手順名変更画面で編集し、確定。

■区切りを追加する

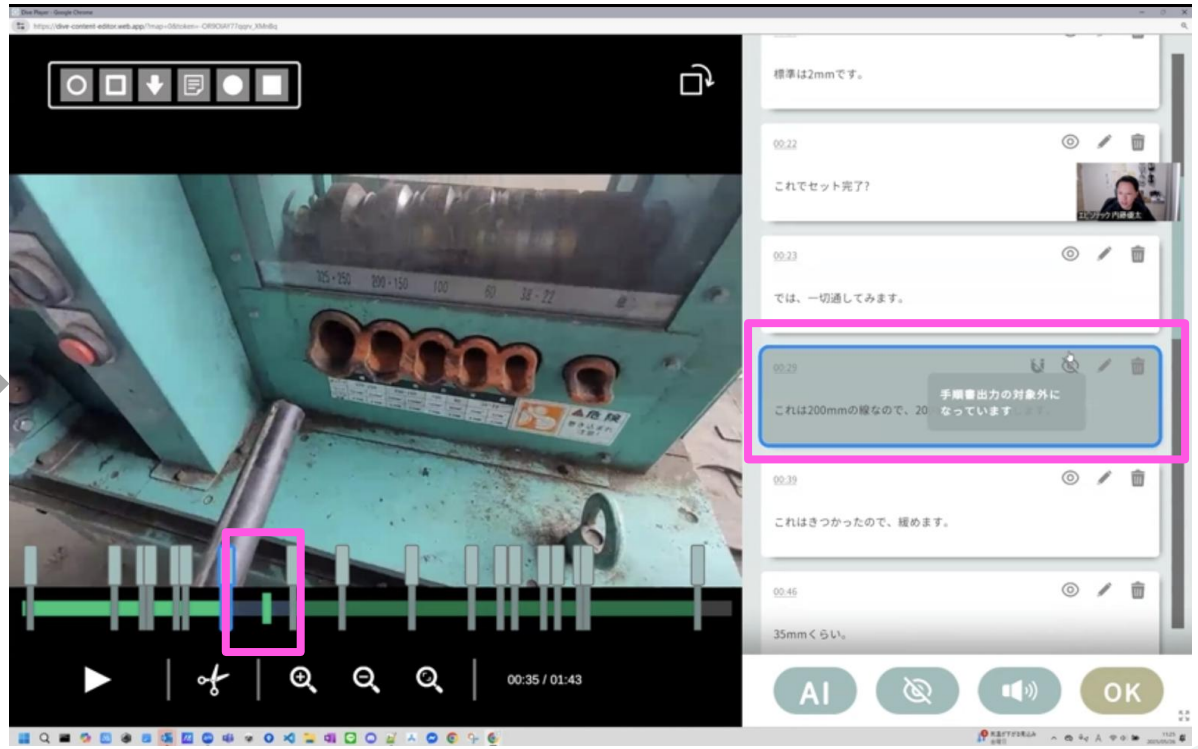
①作業開始位置にシークする



②下記ボタンをクリック。手順名設定画面で入力し、確定。

2． 区切りを動画手順書の対象外にする

対象区切りをクリックし、下記ボタンをクリック

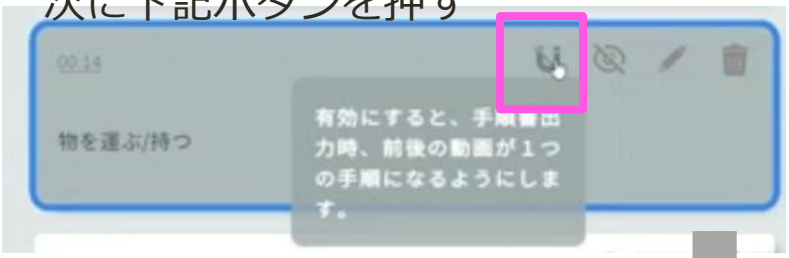


出力対象外の区切りはグレーになる

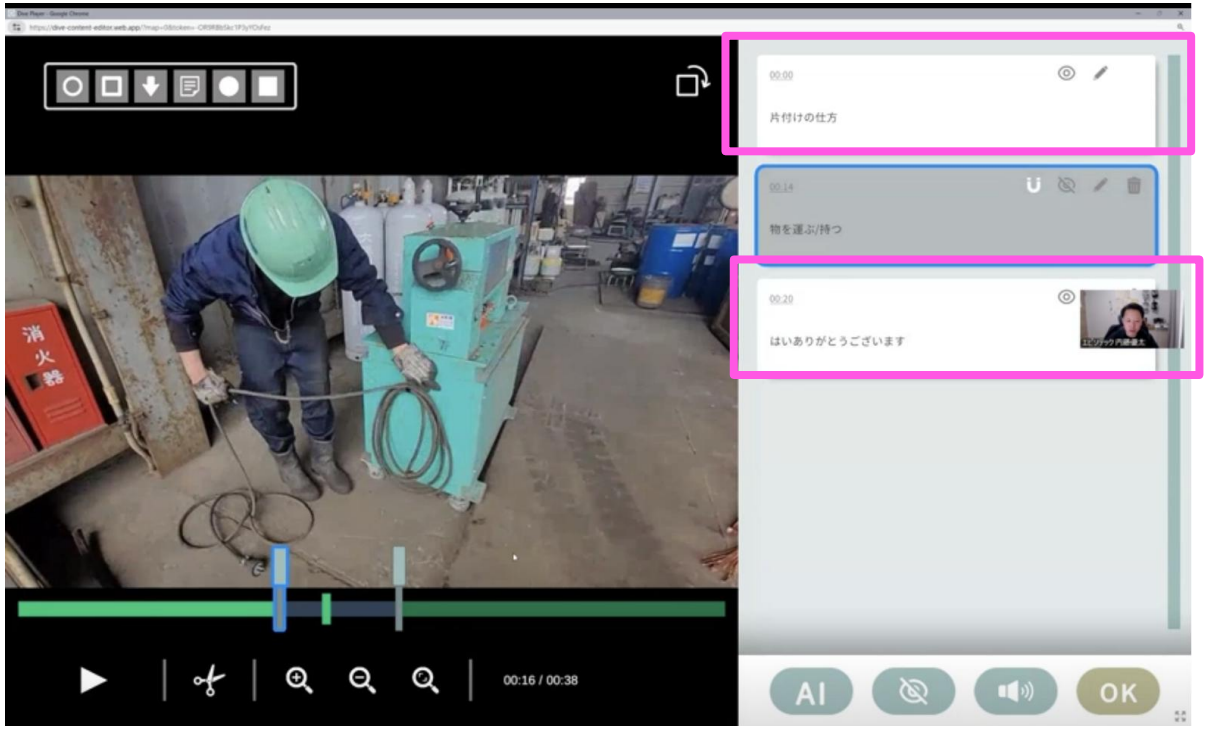
3. 動画を結合し、１つの区切りとする

不要とする箇所で下記ボタンを押す

次に下記ボタンを押す



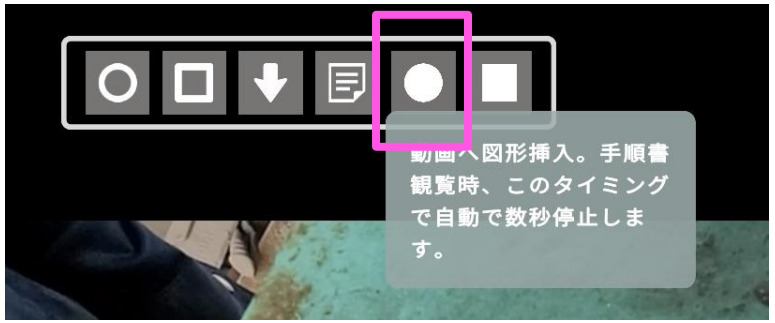
設定した箇所を飛ばす形で、
前後の動画が結合される

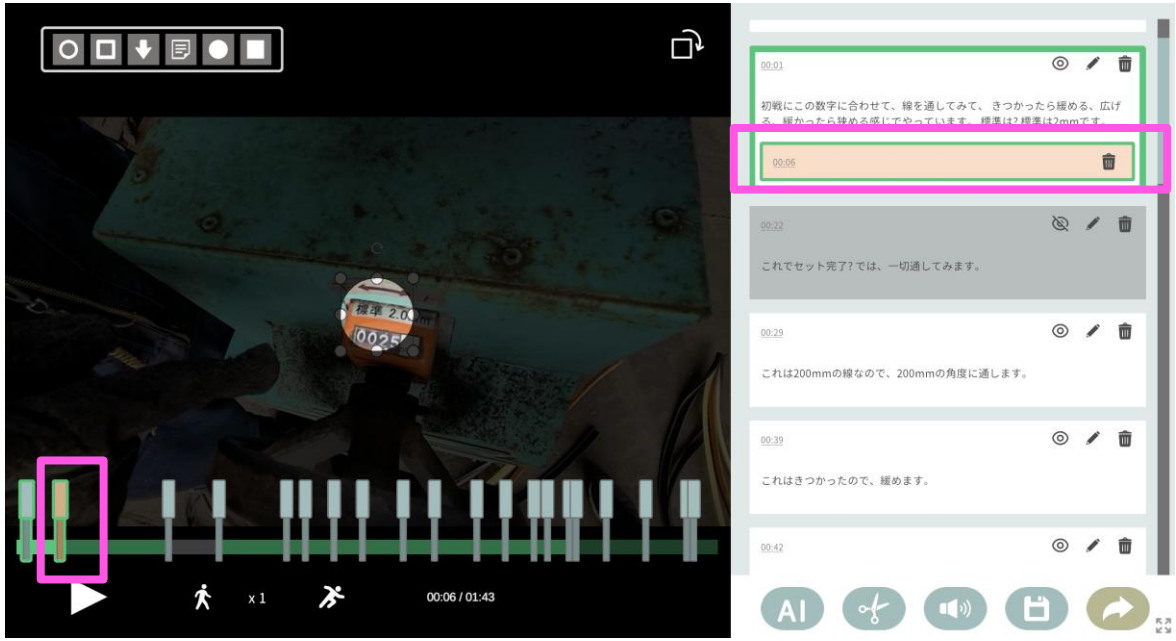


4．動画へ図形を挿入する（追加）

①図形を挿入したいタイミングへシークする

②挿入したい図形をクリック



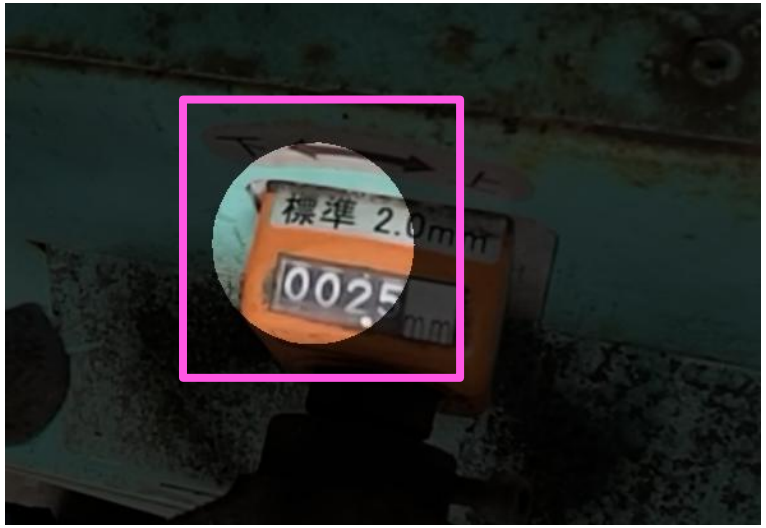


表示タイミングが定義される

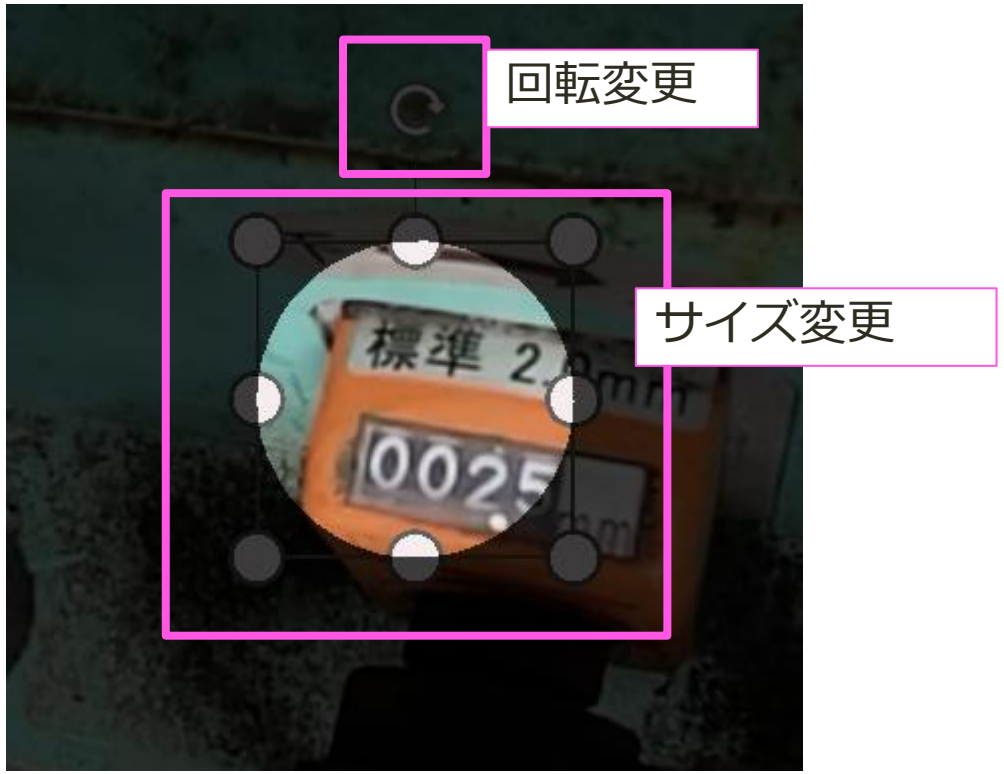
- 動画手順書において、このタイミングで3秒間自動停止します（編集画面で停止し続けます）
- 区切り同様にタイミングの調整や削除ができます。

４．動画へ図形を挿入する（調整）

①図形をクリック

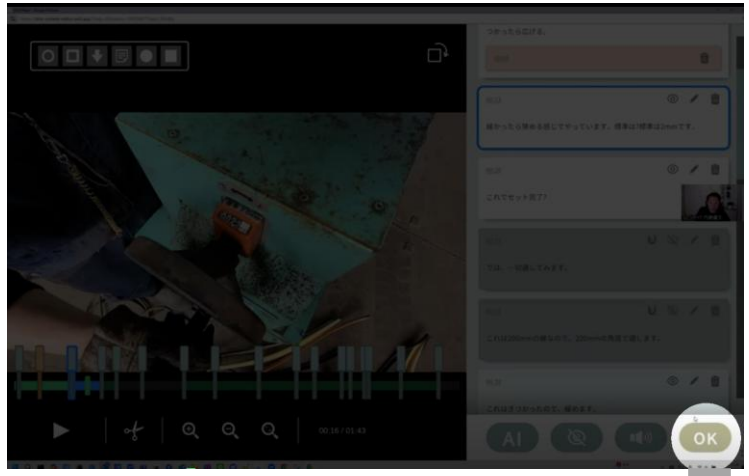


②調整用のアイコンをドラッグ＆ドロップして、図形を調整



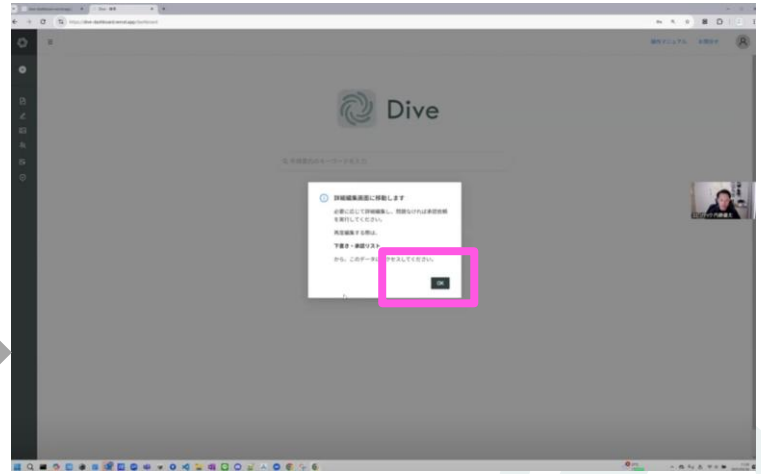
※図形単体の削除はキーボードのデリートキーで行います。

保存



- 最終処理がおこなわれます。手順数が多かったり、結合処理定義があると時間がかかることがあります。
- 処理がおわると、編集アプリは閉じます。

クリックして、詳細編集画面へ。



1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

詳細編集でできること

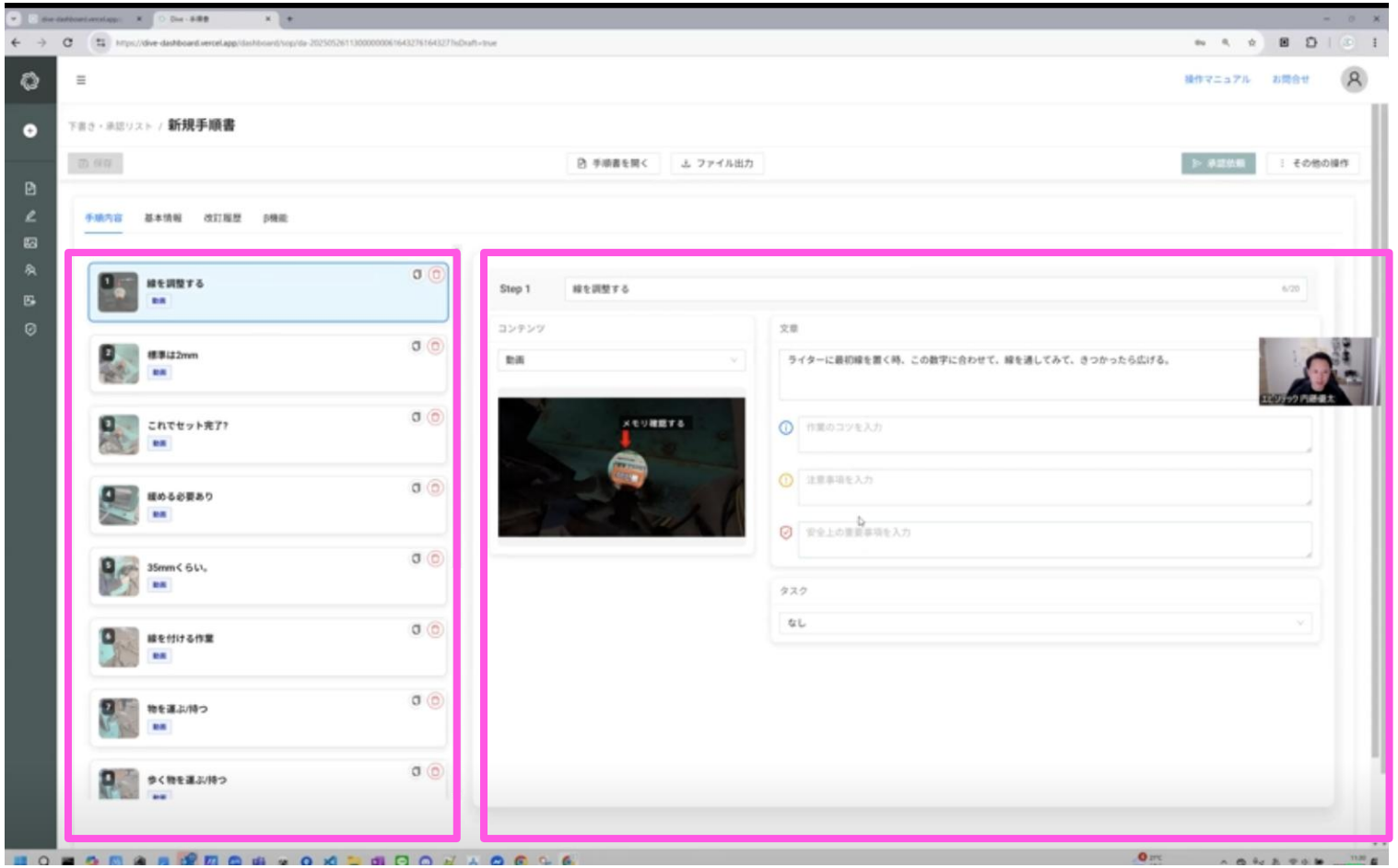
下記を行うことで、手順書としてのブラッシュアップを行う事ができます。

1. **各手順の説明欄の拡充**
2. **各手順のタスクの定義**
3. **手順の追加（生成AI活用可能）**
4. **格納フォルダの定義**
5. 新たなステップとして動画を追加
6. 新たなステップとして画像/PDFを追加
7. 手順の削除、移動
8. 観覧可能アカウントの変更

等

詳細編集画面

手順一覧
＊他の動画の挿入等はこちらから実施

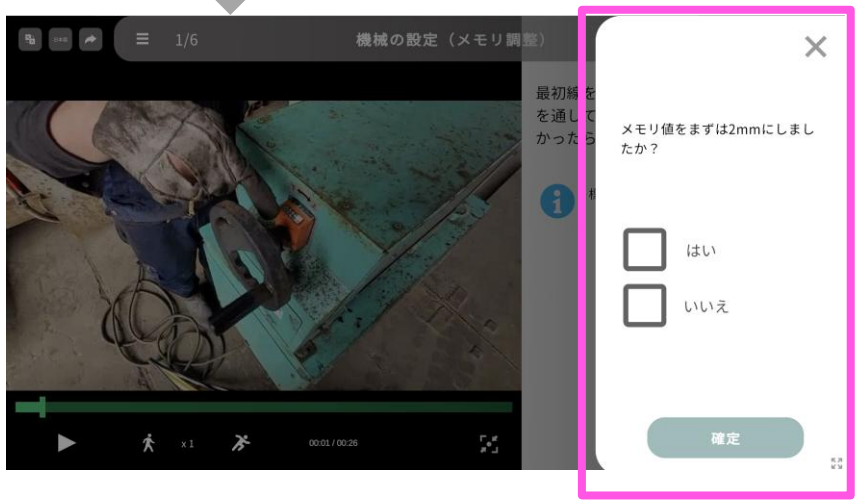


選択した手順の詳細編集

1. 各手順の説明欄の拡充

記入した各項目は、上記のように表現される

2. 各手順のタスクの定義



タスクがある手順にて、上記のように表現される

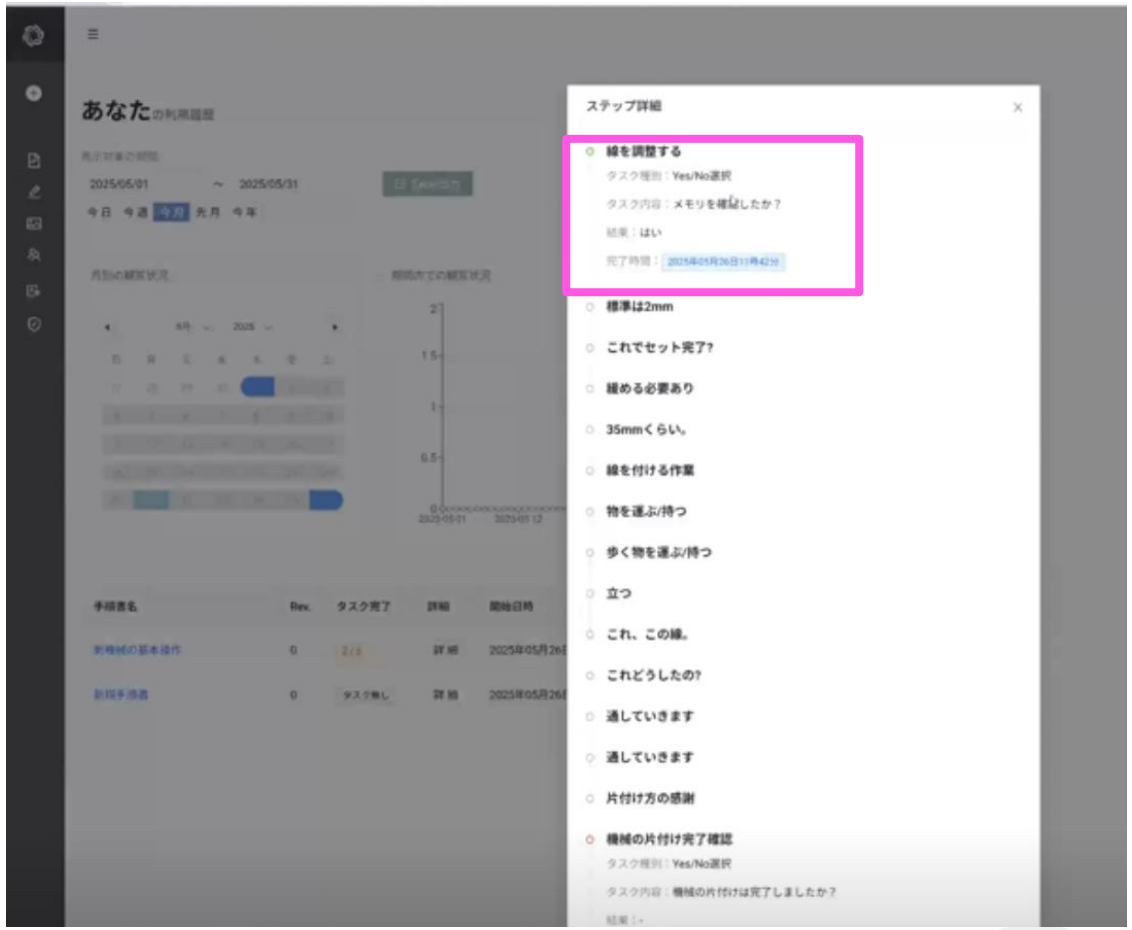
タスクについて

■**タスクの動き**

- 各手順で、観覧している方に対して設問を設けれることができる。
- 設問に回答しなければ、次の手順に移行できない。
- 今回は動画をもとに手順書を作成。
- 回答した結果は「アカウント管理」→「利用履歴」から確認できる。

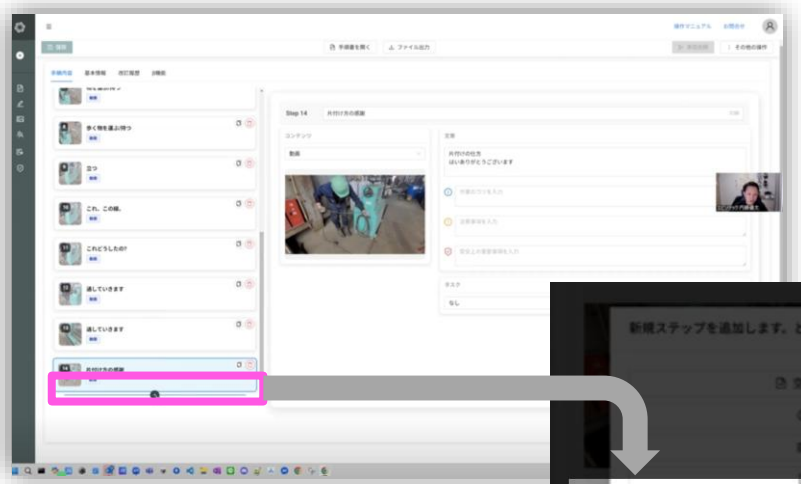
■**想定用途**

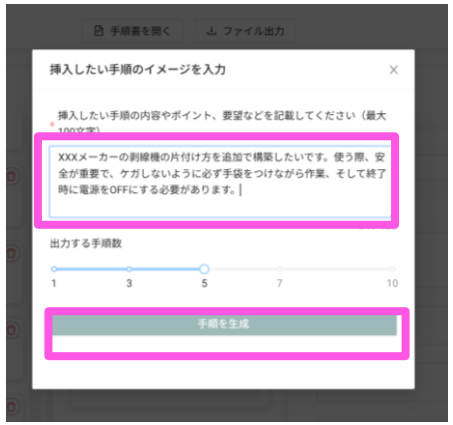
- チェックシートとして使う。
- 入力者がだれかを特定する（１つのアカウントを複数人で使う運用時）。
- 作業結果記録（測定値の入力、など）
- ポカヨケ



3. 手順の追加（生成AI活用可能）

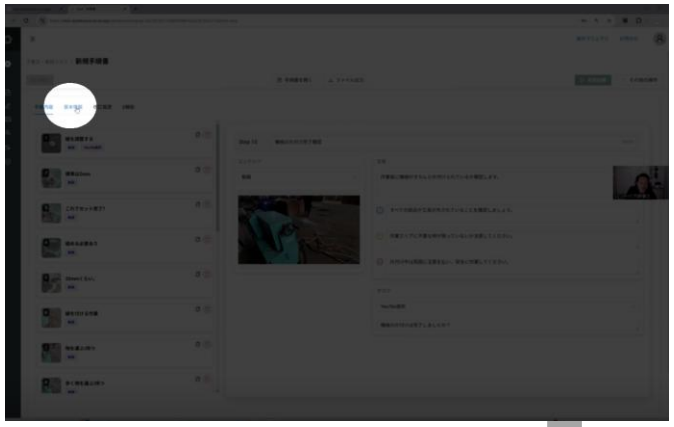
追加したい箇所にマウスを動かす

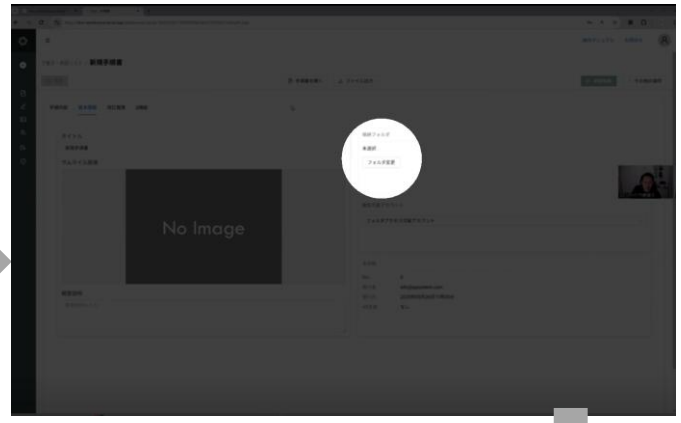




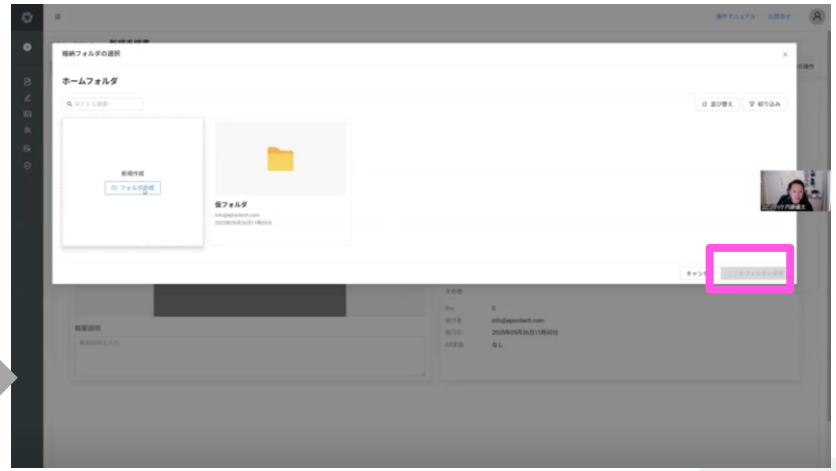
提案内容を確認し、問題なければクリック

4. 格納フォルダの定義





格納するフォルダを選択
＊フォルダの作成は、管理者以上の権限を持つアカウントが実行できます。



1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

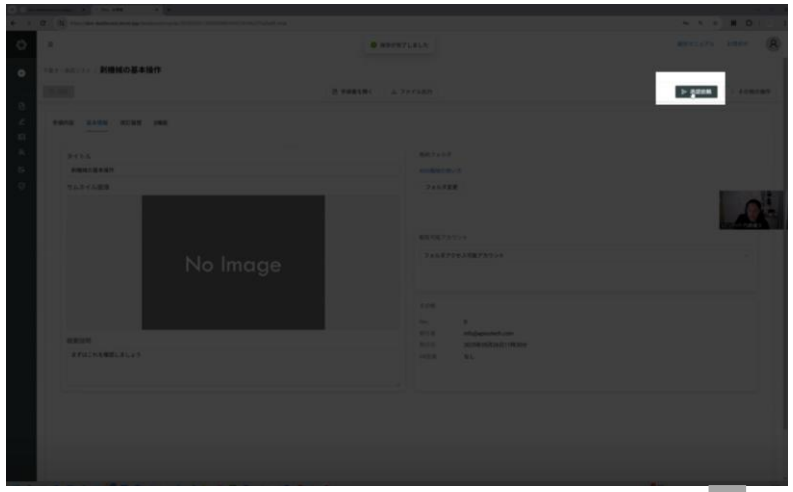
4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

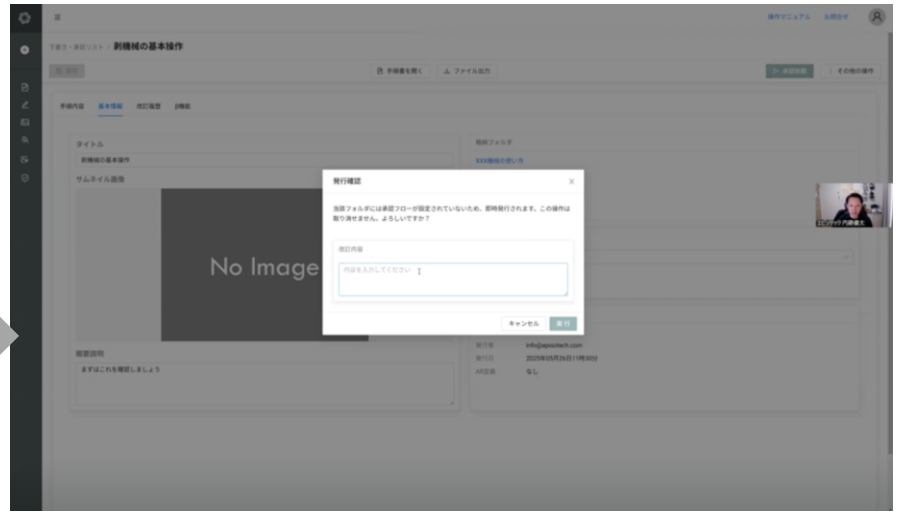
7. グラス版アプリ

承認依頼（発行）



フォルダに承認フローが設定されている場合、発行確認ではなく、承認依頼の画面になります。承認フローの最後の承認者が承認すると発行されます。

「発行確認」ウィンドウでOKをクリックすることで、指定した格納フォルダ登録に手順書が格納されます。



1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

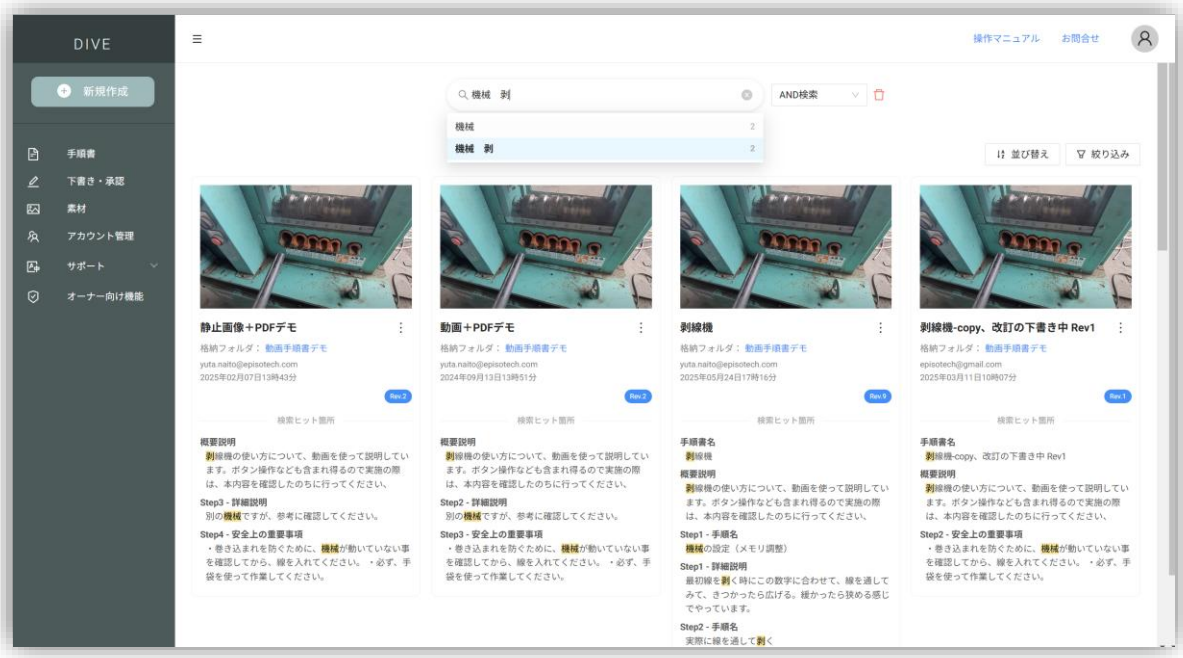
アクセスの仕方

下記のいずれかとなります。

1．Webアプリを開き、全文検索してアクセス

2．フォルダ内を探し、アクセス

3．共有されたURL, QRコードを介してアクセス



全文検索では、動画内テキストも検索対象になります

動画手順書プレイヤー

自動翻訳設定画面を開く

手順一覧を開く

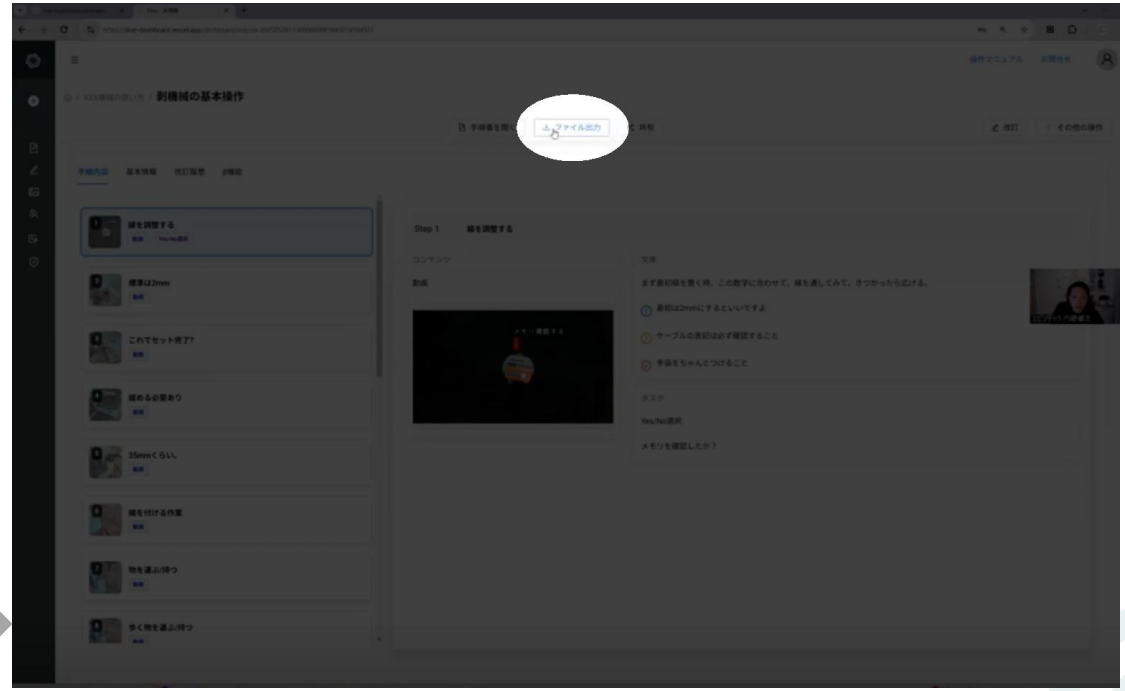
手順の移動

ファイルとして確認

当該の手順書を探したあと、「. . .」をクリック

詳細をクリック

ファイル出力から所望のファイル形式を選択



1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

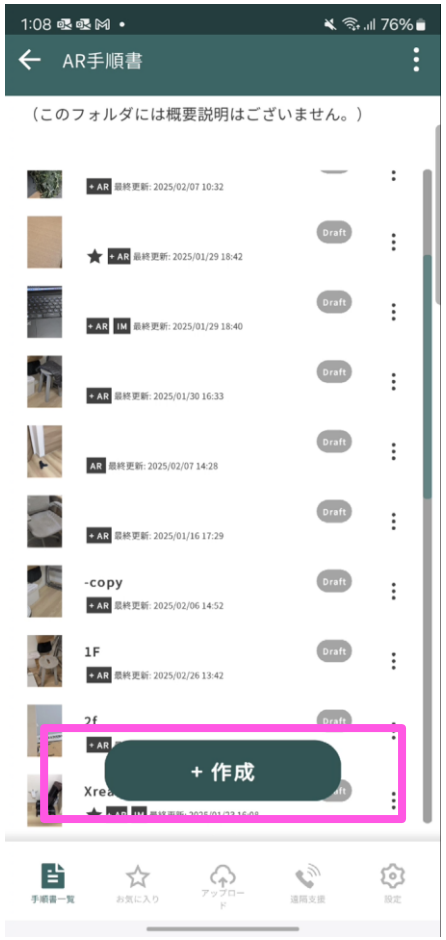
4. AR手順書を作成する

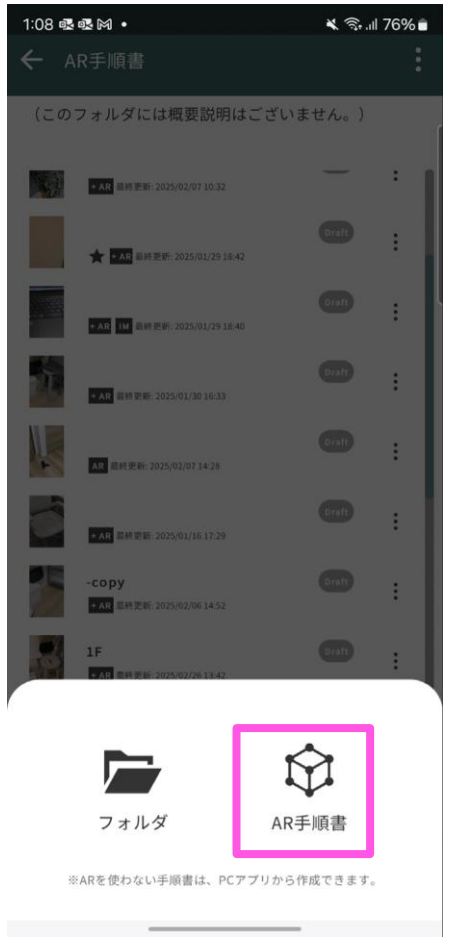
5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

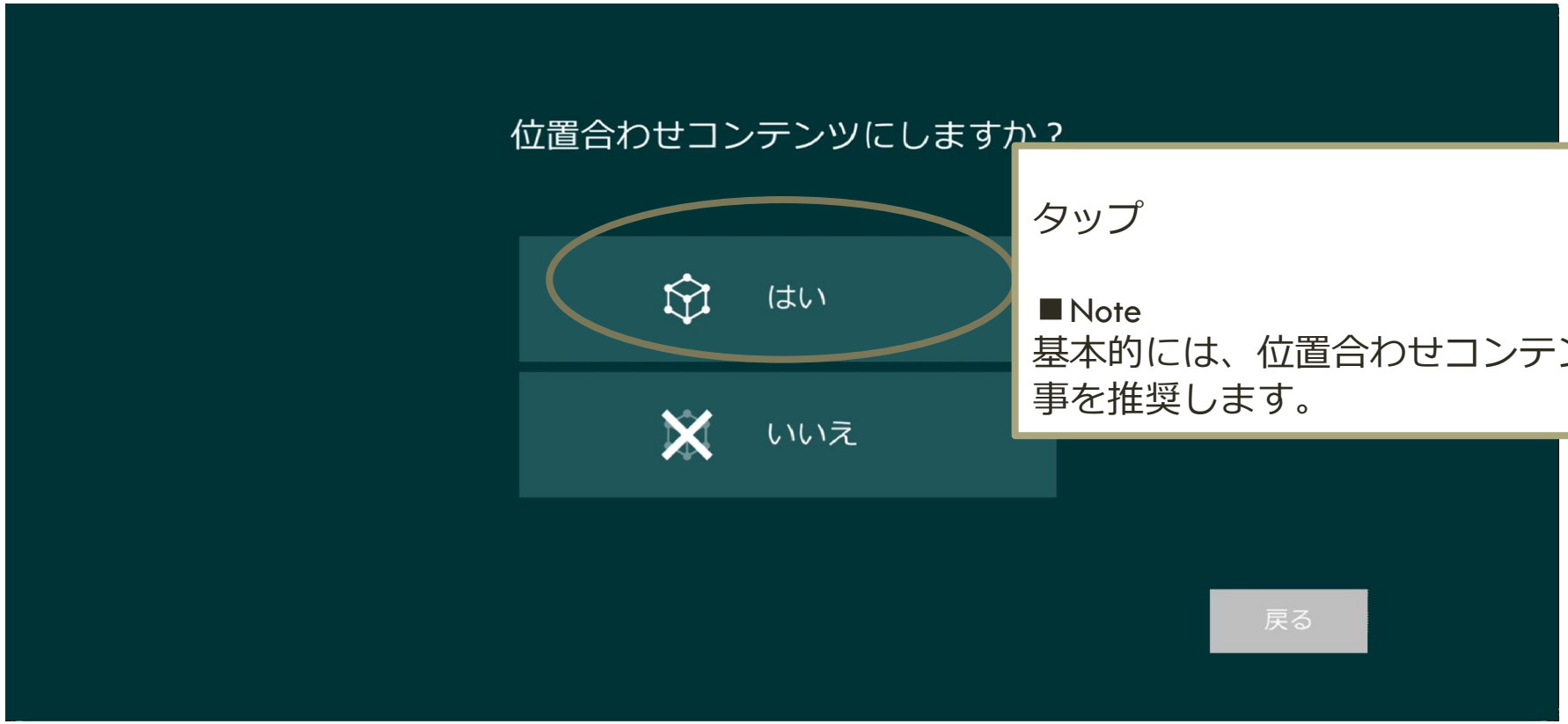
7. グラス版アプリ

格納するフォルダを選択





3Dスキャンをする

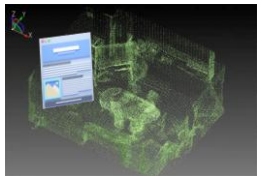


タップ

■Note
基本的には、位置合わせコンテンツにする事を推奨します。

位置合わせ：ありとなし

あり



アプリに空間の特徴点を認識させ、特徴点と関連情報を位置関係のデータセットをつくっておく

事前認識した特徴点とカメラ取得画像が一致すると、データセットの関連情報が**空間位置を基に**表示する

なし

関連情報とスマホの位置関係のデータセットをつくっておく

作成しておいたデータセットを参考に、**使用時のスマホを基準として**関連情報が表示する

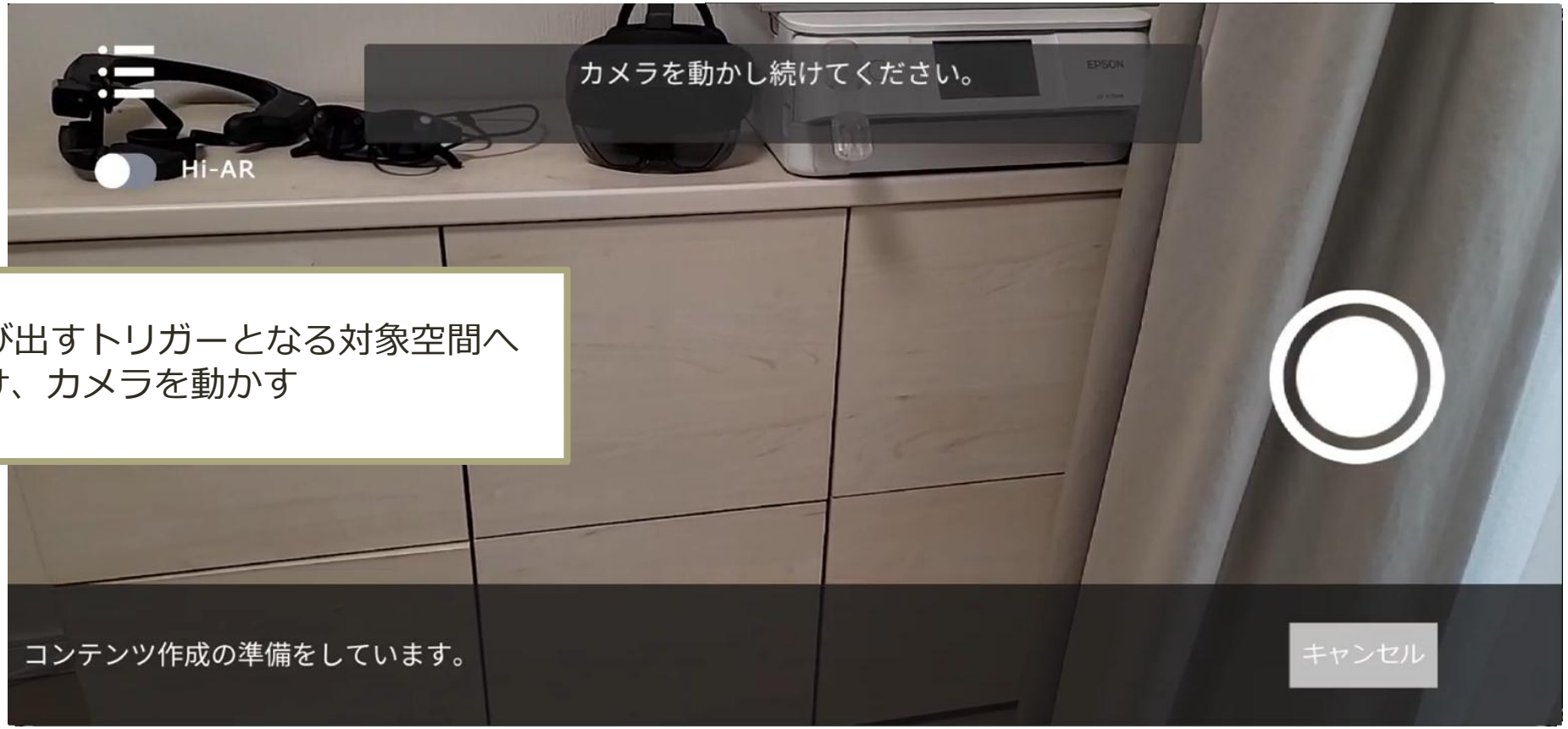
■ユースケース：機器・設備情報を現場へマッピング

・保守現場個別のマニュアル配置
・展示会、受付での無人対応
・ショッピングセンターイベント

■ユースケース：複数情報表示のために製品へQRコード添付

・出荷済製品のトレースやマニュアルの表示
・小売製品でのキャンペーン

3Dスキャンをする



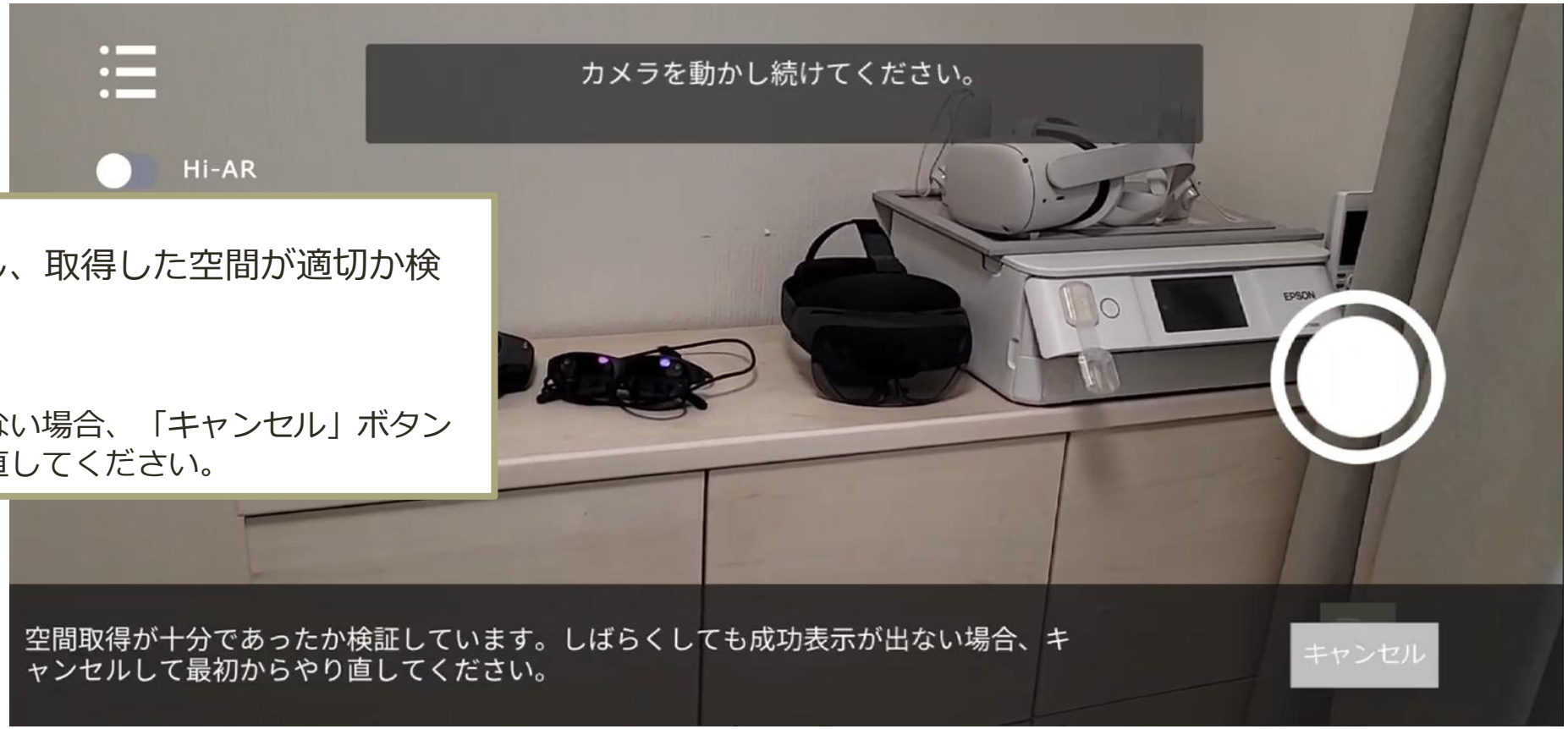
AR情報を呼び出すトリガーとなる対象空間へ
カメラを向け、カメラを動かす

3Dスキャンをする

青い点の数がなるべく多くなるようにカメラを動かす（空間の取得をしています）

十分とれた判断のあと、タップ

3Dスキャンをする



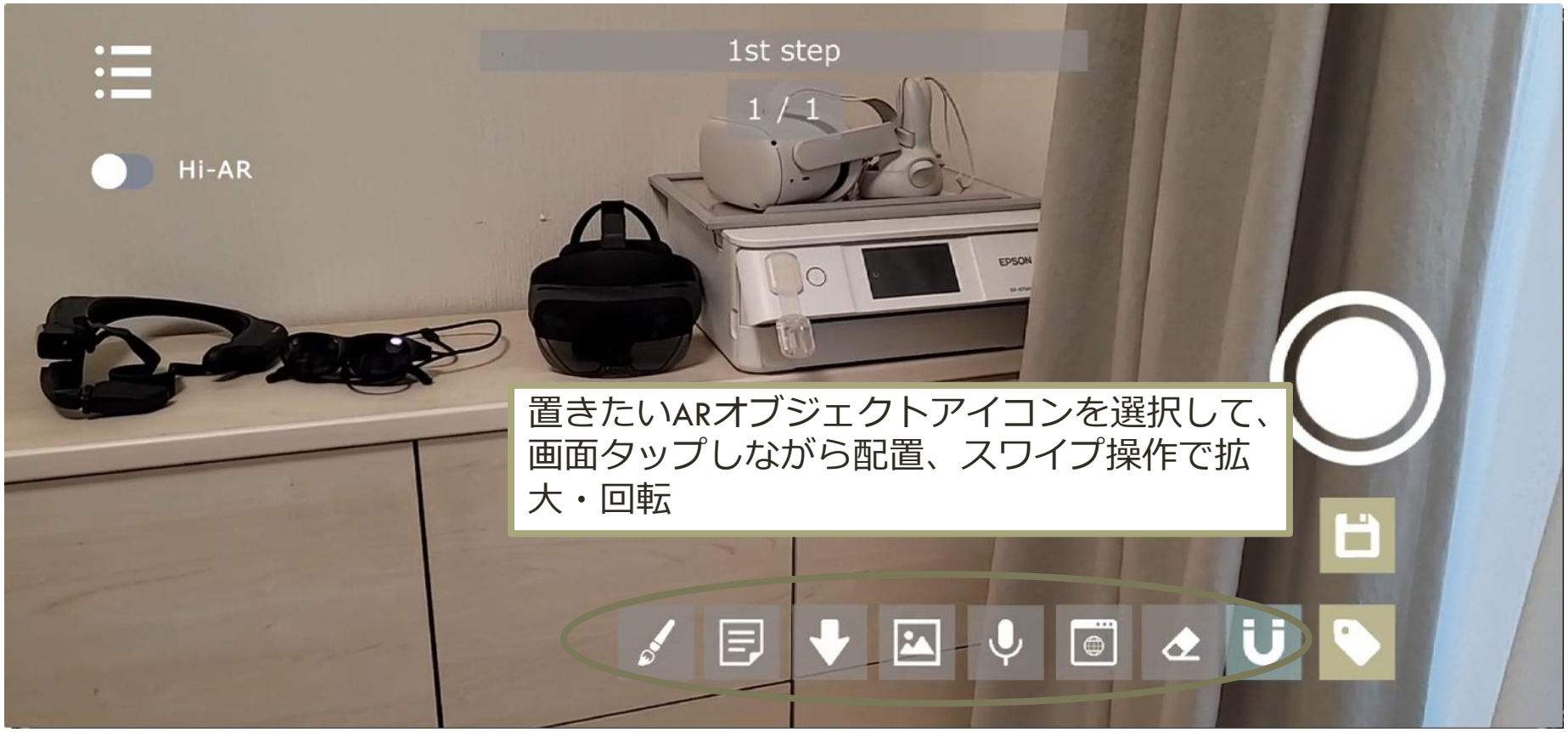
カメラを動かし、取得した空間が適切か検証します。

■Note
成功表示がされない場合、「キャンセル」ボタンを押して、やり直してください。

3Dスキャンをする

表示指示に従って、手順書名・参照用写真と設定

コンテンツを作成する


1st step
1 / 1
Hi-AR
EPSON
置きたいARオブジェクトアイコンを選択して、画面タップしながら配置、スワイプ操作で拡大・回転

置けるARオブジェクト

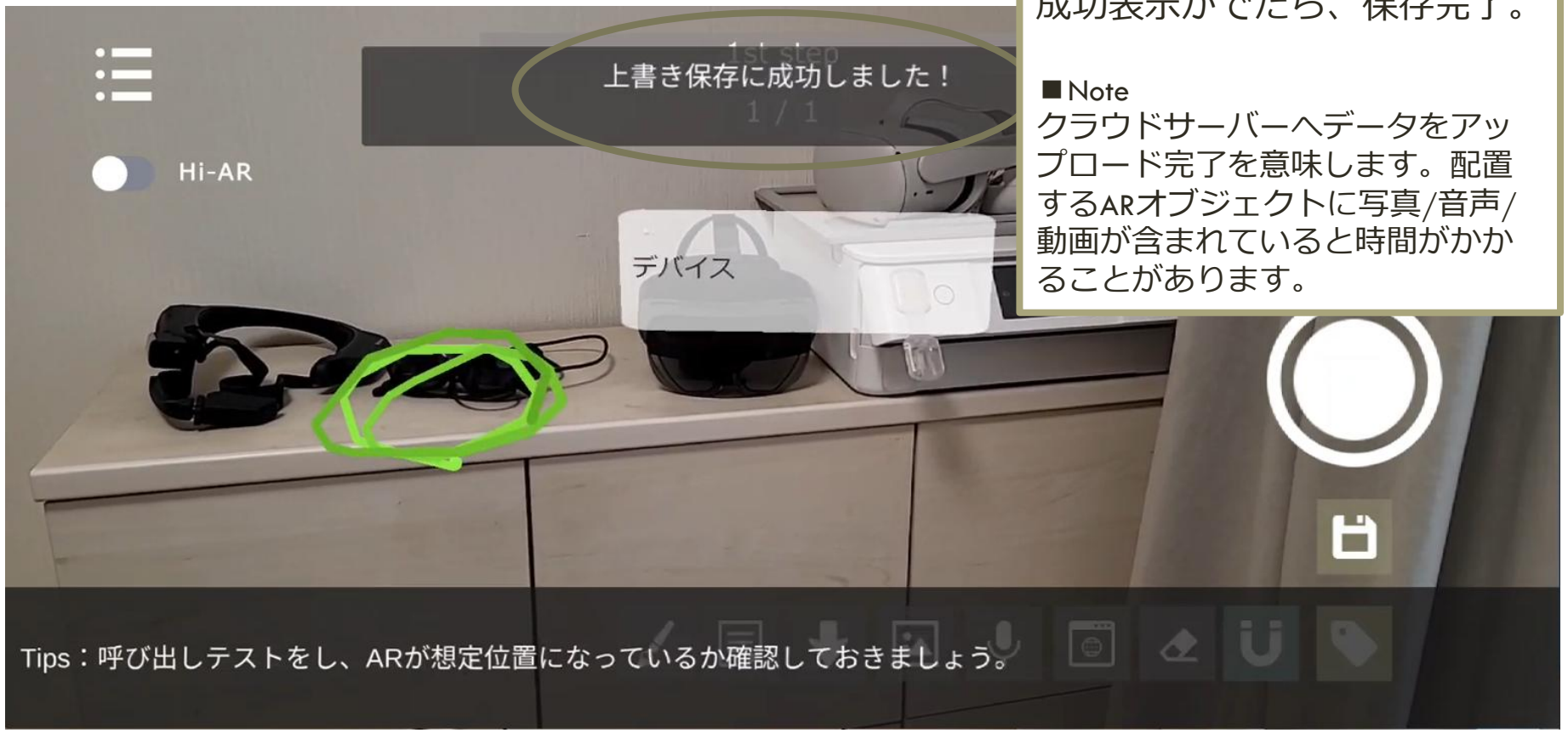
アイコン	ARオブジェクト	補足
	マル	-
	矢印	-
	テキスト	-
	画像/動画/3Dモデル	ローカルまたはクラウドから選択できます
	録音音声	• タップしている間、録音されます。 • 観覧時、近づくと自動で再生します。
	ナビゲーション	• アイコンをタップする度に、現在地点に角を設定します。 • チェックボタンで確定します。
	ブラウザ	

コマンド類

アイコン	ARオブジェクト	補足
	削除	-
	全選択	-

コンテンツを保存する

コンテンツを保存する



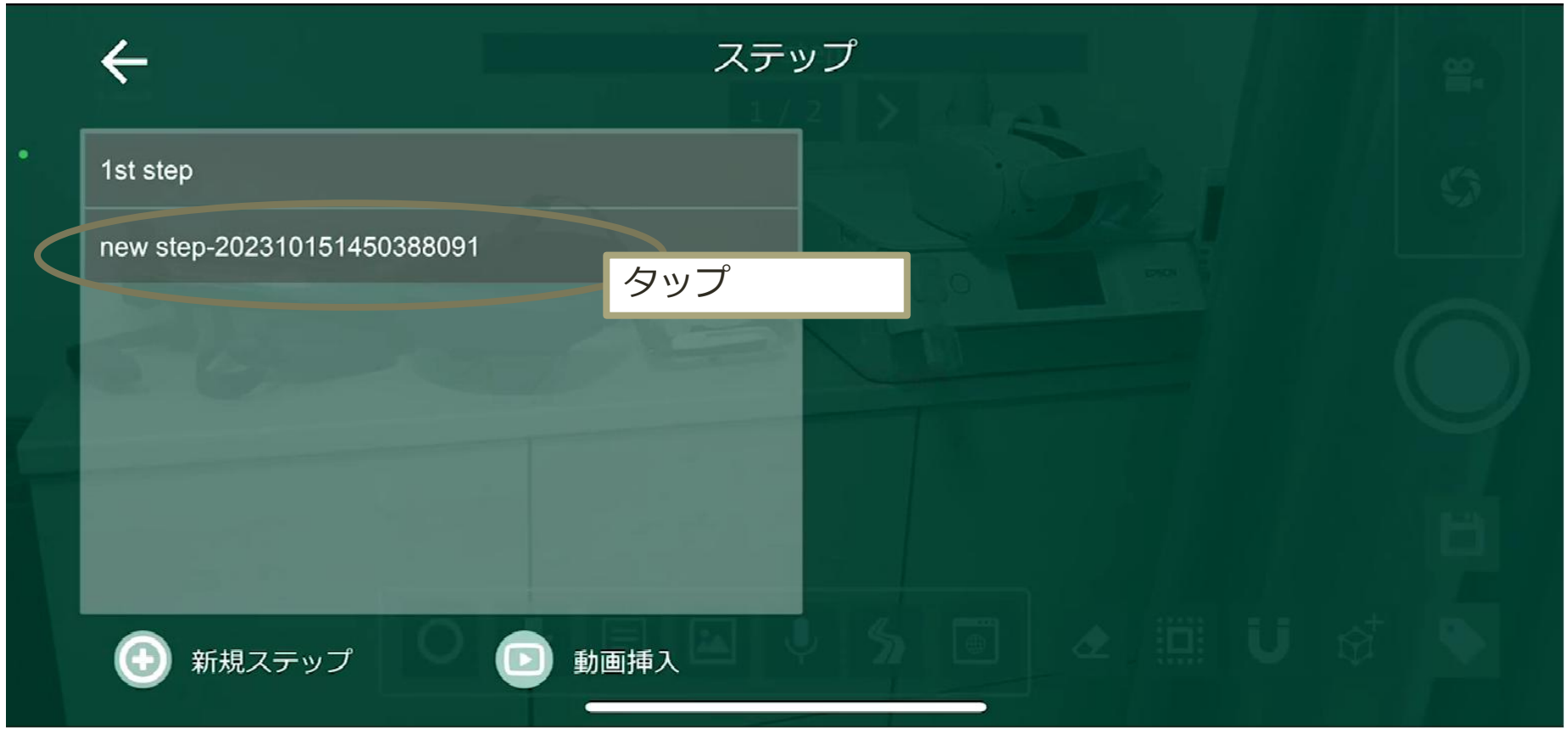
成功表示がでたら、保存完了。

■Note
クラウドサーバーへデータをアップロード完了を意味します。配置するARオブジェクトに写真/音声/動画が含まれていると時間がかかることがあります。

手順を定義する

手順を定義する

手順を定義する



手順を定義する

タップ。
空のARコンテンツとなるので、
同様に作成・保存。

Tips: ARオブジェクトがずれて配置されてしまう

- 下記例のように3次元を考慮して配置しないと、上手く配置する事ができない。
- 正面、横から見るなどして、移動調整をする。
- 画面上で移動させるのではなく、自らが動いて「置く」感覚でオブジェクトを配置する。

例

スマホに対して矢印を置きたい

この角度だと上手く置けているように見えるが、、

別の角度からだと上手く置けていない事がわかる。
奥行を考慮した配置が出来ていない事が原因。

Tips: モノに対して位置合わせしたい

基本的には位置合わせコンテンツは、空間に対してのみですが、
下記条件を満たす事で**モノに対しても位置合わせ**とできる可能性があります。

条件

- 対象の**周囲を回れる**。
- 対象から0.5m離れたところから、対象物をアプリからみたときに、**背景が映らない**（対象物の目安サイズ：高さ1m以上、縦横それぞれ2m以上）

＊上記から、**車程度のサイズのモノ**であれば条件を満たす。

作成方法

空間取得時に、背景がカメラに映らないように対象へカメラを向けたまま、対象周辺を回る

1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

アカウントの権限

４つのアカウントの権限があり、データ変更に係る操作は権限によって変わります。

権限	オーナー	管理者	作成ユーザー	観覧ユーザー
セキュリティ設定（オーナー向け機能）	○	×	×	×
アカウントの追加	○	×	×	×
権限編集、グループ作成・編集	○	○	×	×
フォルダ作成・編集	○	○	×	×
手順書作成	○	○	○	×

アカウントの追加

追加の方法は2種類あります

- 1 アカウントずつ追加
- エクセルファイルの内容で一括で追加

アカウントの追加：１アカウントずつ追加

招待メールのリンクから、当該ユーザーが
アカウント登録すると正式に追加されます。

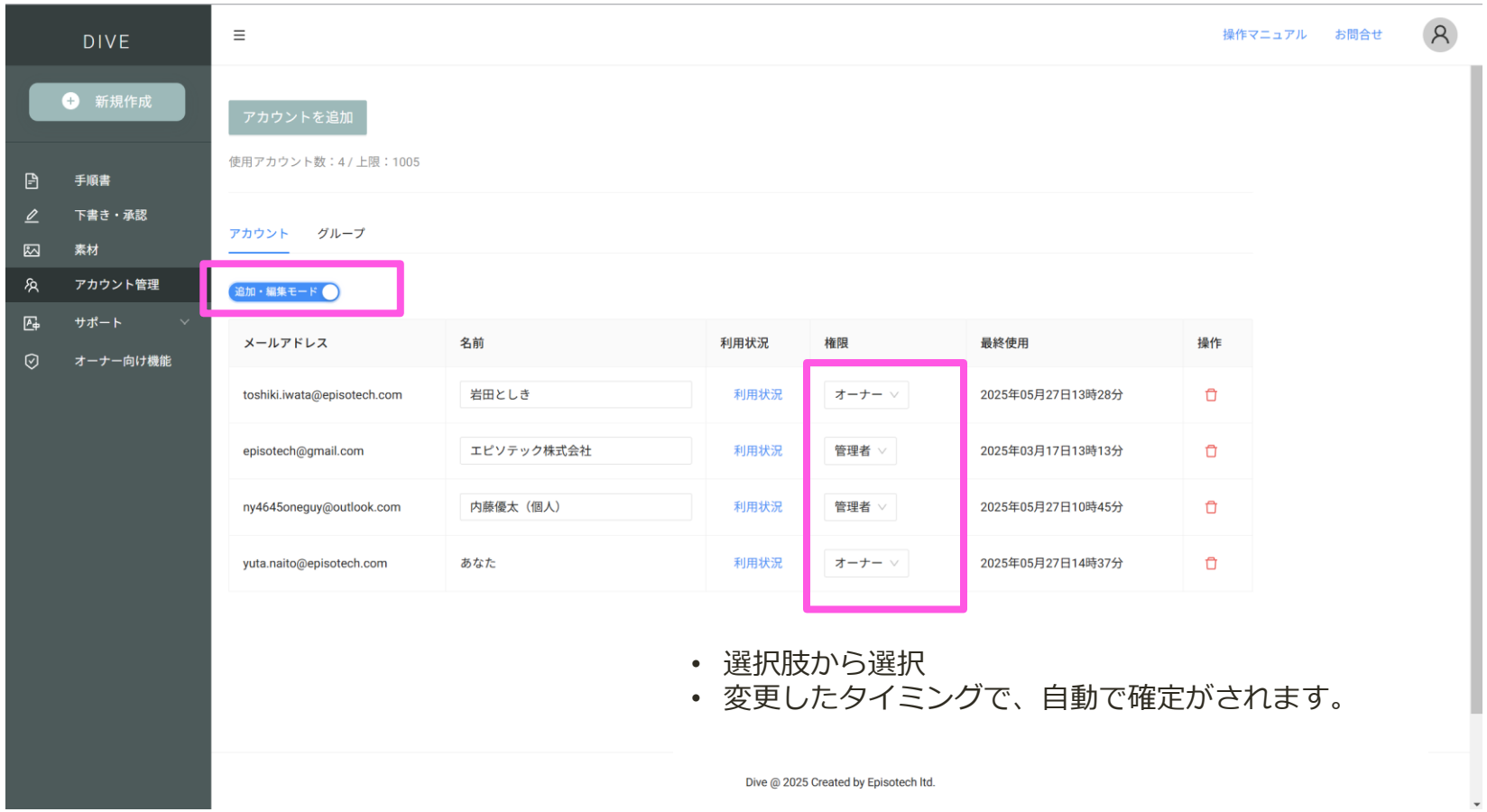
アカウントの追加：エクセルファイルの内容で一括で追加

内容を編集し、保存

内容確認し、問題なければインポート実行

Episotech

アカウントの権限変更



- 選択肢から選択
- 変更したタイミングで、自動で確定がされます。

参照権限

■フォルダのアクセス制限について

- アクセス制限設定で「絞り込みする」と設定されているファルダは、「アクセスできるグループ」として登録さているグループのアカウントがアクセスできます。上記設定がない場合、チーム内のアカウント全てがアクセスできます。
- ただし、オーナー権限ユーザーは、上記に限らず全てのフォルダへアクセスできます。

■手順書の観覧可能アカウント設定

設定	説明
フォルダアクセス可能ユーザー	基本的な参照設定です。
作成者（自分）のみ	作成者 / 改訂実施者、オーナー/管理者権限アカウントのみ観覧可能です。
外部含むすべてのアカウント（ログイン不要）	「フォルダアクセス可能ユーザー」の設定に加え、共有されたURLやQRコードを介して、ログイン不要で観覧可能です。共有URLでのアクセスの場合、フォルダのアクセス制限を無効となります。 ＊セキュリティ設定で、この選択を無効にすることは可能です。

■画像や動画の素材について

アカウント毎で、「チームに共有」するか「自分のみ」にするか選べます（デフォルトは自分のみ）。
「自分のみ」にしている場合、オーナー権限アカウントも確認できません。

1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

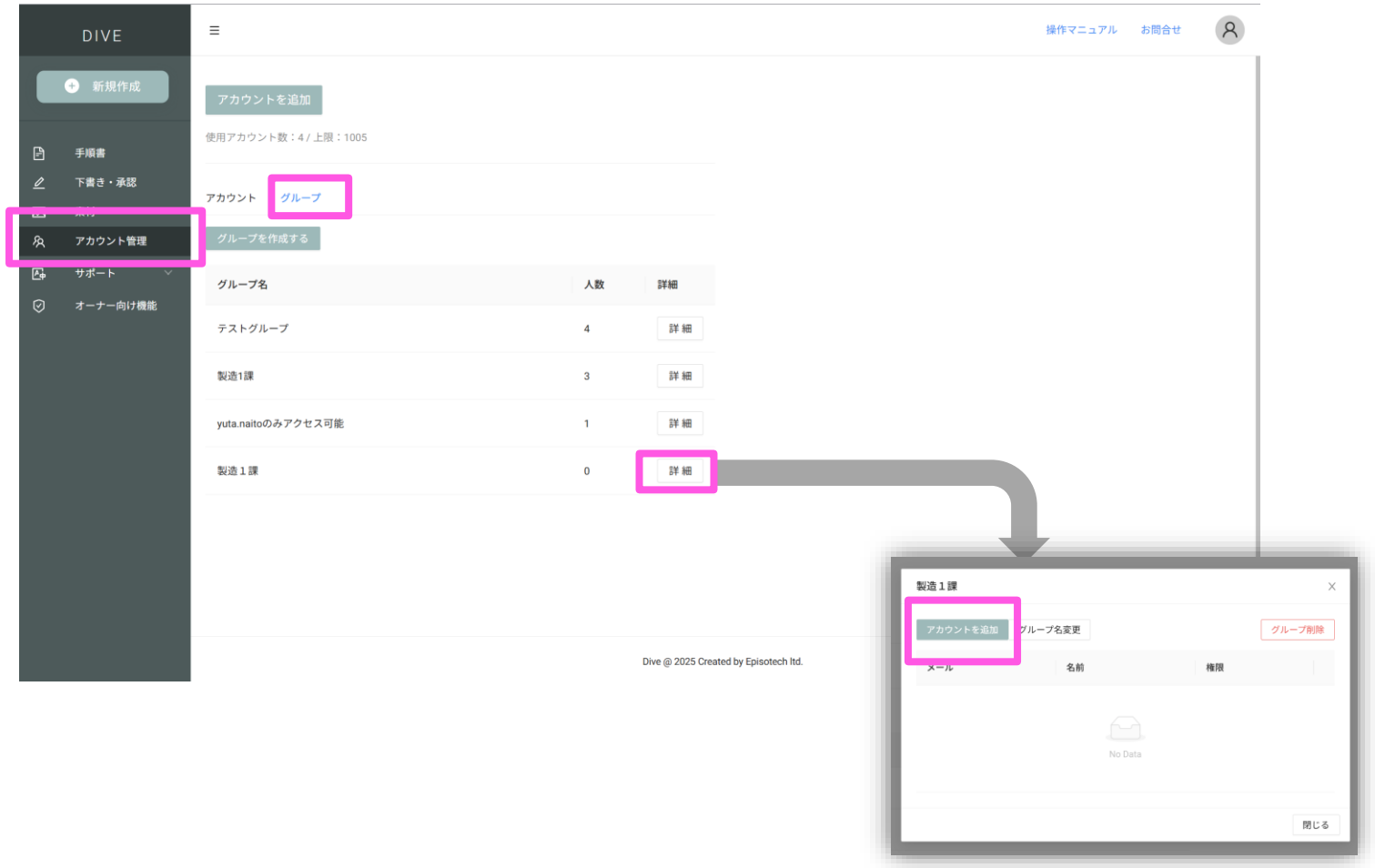
6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

グループを作成

※あらかじめ、「アカウントを追加」でDiveを利用するアカウントを登録しておきましょう（オーナー権限のみ可能）

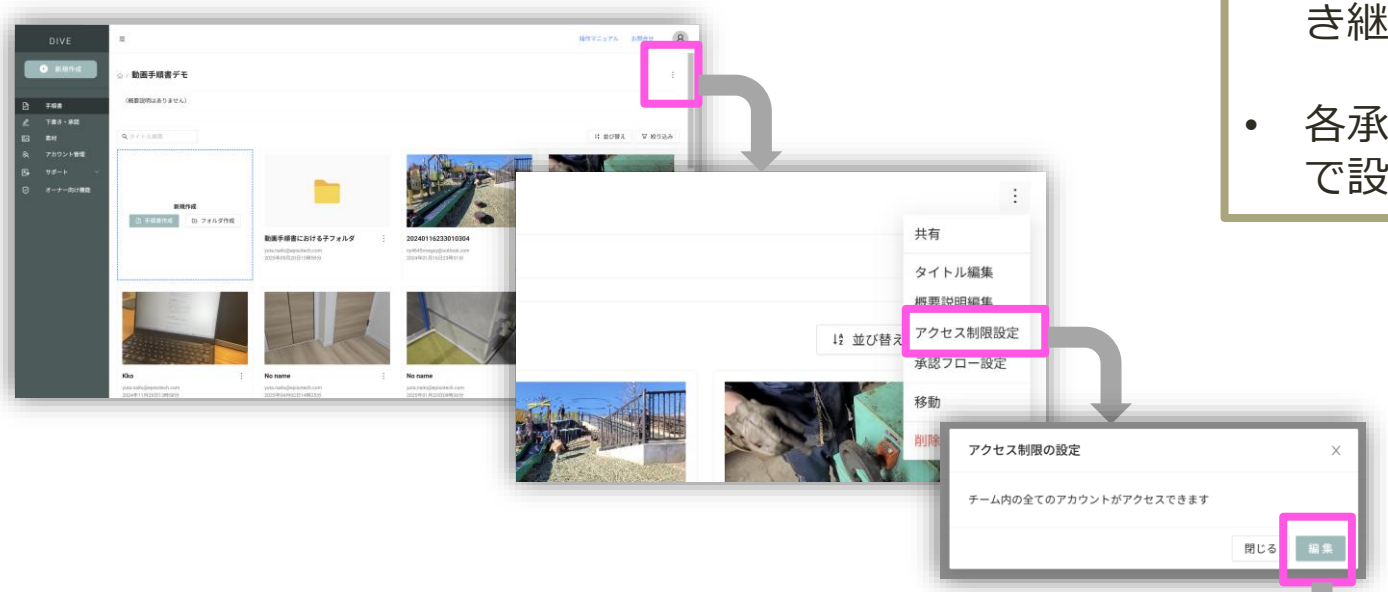
グループを編集



グループに割り当てるアカウントを選択する

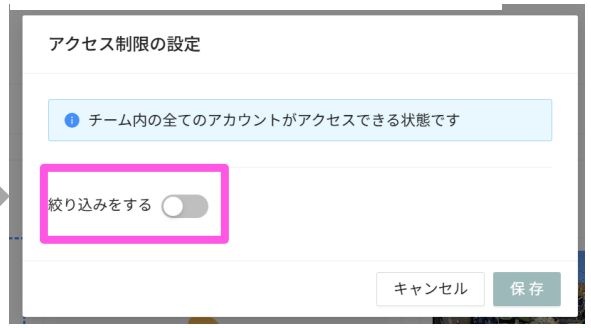
アクセス制限設定

当該のフォルダへ移動



- 上位フォルダに設定されているアクセス制限設定を引き継ぐ仕様になっています
- 各承認フローステップはORで設定できます。

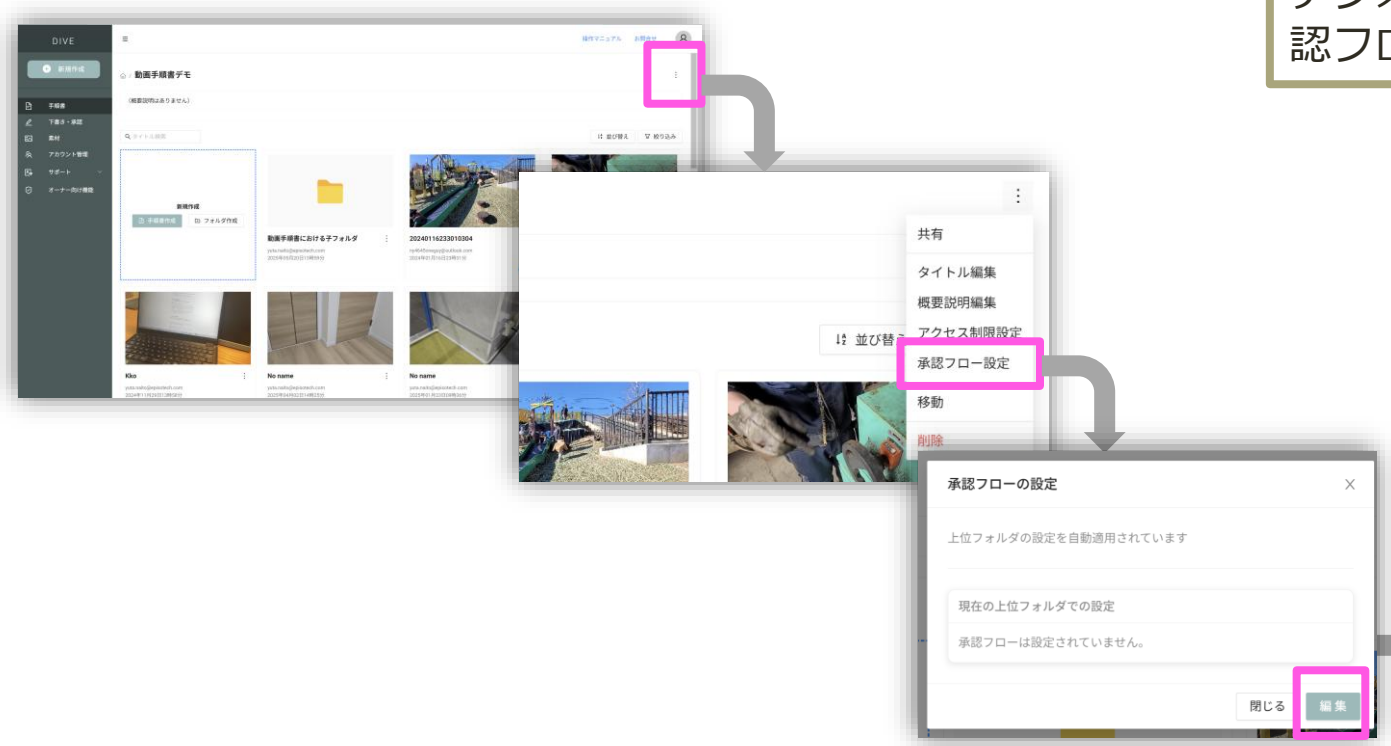
「絞り込みをする」を有効にした後に、アクセス可能なグループを設定



承認フロー設定

当該のフォルダへ移動

デフォルトは、上位フォルダの承認フローと同じになります。



「上位フォルダの設定を自動適用する」のチェックをはずし、承認フローを設定

1. トライアルの開始

2. 動画手順書を作成する
   - 作成方法の選択、動画アップロード
   - 動画編集
   - 詳細編集
   - 承認依頼（発行）

3. 動画手順書を観覧する

4. AR手順書を作成する

5. アカウントの権限・参照権限

6. アクセス制限・承認フローを設定する

7. グラス版アプリ

アプリインストール・バージョンアップ方法

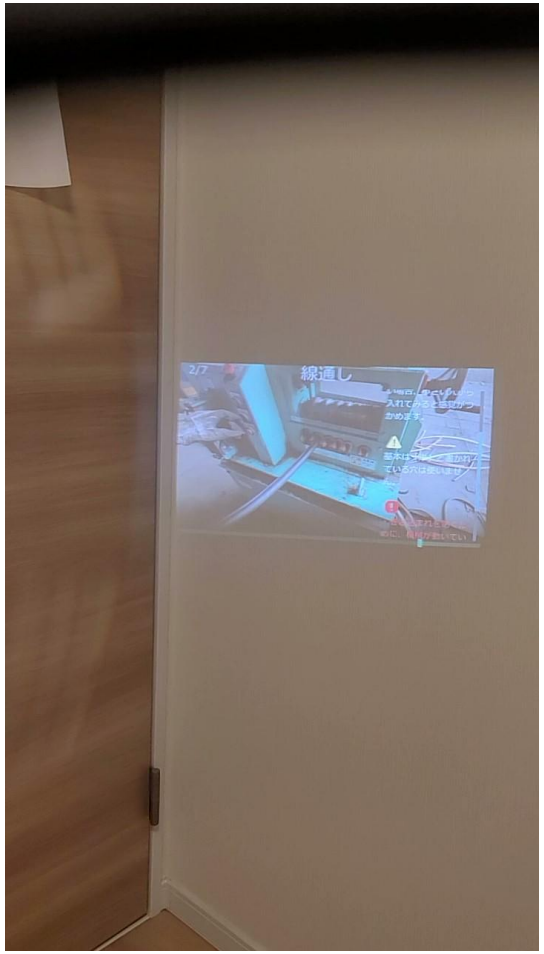
■アプリのダウンロードページ
下記から所望のデバイスに対するアプリをダウンロードしてください。
https://divedx.com/ja/app-list

■インストール方法

1. デバイスを開発者モードにする（注：自己責任の上、実行ください）
   *デバイスによってはこの設定が不要の場合があります。
   ＊INMO Air2の場合は、こちらが参考になります。
2. ダウンロードしたファイル（.apk)をPCへダウンロード
3. Vuzix ViewをPCへインストール
4. PCとデバイスをUSBケーブルで接続
5. Vuzix Viewからデバイスへアクセスし、 Vuzix Viewへ1のファイルをドラッグアンドドロップ

■サポート
デバイスをお送りいただくことで、有償にて対応可能です。お気軽にご連絡ください。

できること



スマホ版・PC（Web）版Diveで作った手順書を
ハンズフリーで確認できます。

■使い方流れ

1. QRコードをスマホ版・PC（Web）版Diveから表示します（デモとして次スライドにあるQRコードが使えます）
2. QRコードをグラスから読み取ると、手順書が開きます。
   ＊1分以内に読み取らないと、アプリが自動で閉じます。
   ＊Xreal Airシリーズの場合、スマホカメラから読み取ります。

ログインの方法

1. Webアプリにログイン
2. 下記に従って、QRコードを表示。アプリで読み取る。

デモ動画手順書

機能比較

		INMO Air2	Vuzix M400/M400	RealWear (Navigator 500等)	Xreal Air シリーズ	dynaEdge XR1
概要	基本操作	• グラスのタッチパネル操作 • ボイスコマンド	• グラスのタッチパネル操作 • ボイスコマンド	ボイスコマンド	• 視線入力 • ボイスコマンド	・物理ボタン ・ボイスコマンド
	表示形式	空間表示(0DoF)	物理ディスプレイ	物理ディスプレイ	空間表示(3DoF) Ultraの場合6DoF	空間表示(0DoF)
機能	手順書表示	○	○	○	○	○
	ボイスコマンド（日本語）	○	○	○	○	○
	動画・画像アップロード	○	○	○	×	×
	遠隔支援	○	○	○	×	×
	ARコンテンツ	×	×	×	○	×
	オフライン動作	○	○	○	○	○

音声コマンド

操作内容	音声コマンド
次のステップ	次
前のステップ	前
動画の停止、スクロールの停止	停止
動画の再生、スクロールの再開	再生
タスク表示	タスク
上へスクロール、選択肢を上に移動	上
下へスクロール、選択肢を下に移動	下
タスク表示	タスク
選択肢を選択、ボタンを選択	選択
メニューを閉じる、タスクを閉じる	閉じる
メニュー開く	メニュー

デバイス固有の操作

操作内容	INMO Air2	Vuzix M400/M400	RealWear (Navigator 500 等)	Xreal Air シリーズ	dynaEdge XR1
次のステップ	前方へスワイプ	前方へスワイプ	-	アイコンに視線を合わせる	グラスの前方ボタンを押す
前のステップ	後方へスワイプ	後方へスワイプ	-	アイコンに視線を合わせる	グラスの中央ボタンを押す
上（前）の選択肢へ移動	前方へスワイプ	前方へスワイプ	-	- アイコンに視線を合わせる - レーザーを当てて、スマホをタップ	コントローラの上ボタンを押す
下（次）の選択肢へ移動	後方へスワイプ	後方へスワイプ	-	- アイコンに視線を合わせる - レーザーを当てて、スマホをタップ	コントローラの下ボタンを押す
選択	タップ	タップ	-	スマホをタップ	コントローラの真ん中ボタンを押す
画面の表示/非表示	-	-	-	-	グラスの後方ボタンを押す
画面移動	-	-	-	スマホをタップ	-

多様な人材が活躍する基盤をつくる

Episotech

https://www.episotech.com/